

# 青空の下 笑顔がいっぱい

## ほっとふる&あいあい秋まつり

「ほっとふる&あいあい秋まつり」には約100組の親子連れが来場し、おもちゃが当たる糸引きくじや、水ヨーヨー釣りなどを楽しみました。なかでも“きかんしゃトーマス号”を模した乗り物の乗車会は子どもたちに大人気。また、子ども向けの特製おやつ「さつまいもとリンゴの甘煮」の試食コーナーもあり、親子でおいしそうに味わっていました。(10月6日、矢本子育て支援センターほっとふる)



## 心を<sup>まじ</sup>交わせ 地域が一つに

### 矢本ひがし地区民まつり

「第12回矢本ひがし地区民まつり」は矢本東地区自治会による出店がお祭りの雰囲気盛り上げ中、ステージでの歌や踊りの演技と各種展示が行われ、大いににぎわいました。特に矢本東小学校鼓笛隊によるパレードには多くの人が集まり、子どもたちの明るい演奏を楽しみました。フィナーレの餅まきも盛り上がり、子どもから大人まで終日笑顔で過ごしました。

(10月1日、矢本東市民センター)

## 新たな火葬場を移転建設

供用開始は平成30年11月



老朽化などに伴い移転新築する火葬場の工事安全祈願祭が開かれました。新火葬場は鉄筋コンクリート造一部2階建てで、火葬炉は現在と同じ2炉ですが、待合室は約193平方メートルと3倍以上の広さで、駐車場も50台収容可能となります。平成30年11月の供用開始を予定しています。

(10月5日、大塩字引沢地内河南地区衛生処理場跡地)

## — にぎわう港湾感謝祭 —



開港50周年を迎えた石巻市と東松島市にまたがる石巻港で第16回港湾感謝祭が開かれました。国立研究開発法人海洋研究開発機構の東北海洋生態系調査研究船「新青丸」、宮城水産高校などの航海実習で使われる県の海洋総合実習船「宮城丸」、宮城海上保安部所属の巡視船「くりこま」の3隻が同時公開され、多くの家族連れなど見学しました。岸壁では、船や港に関するパネル展示、クイズコーナーもあり、幅広い年代の来場者が港や海に親しみました。(9月30日、石巻市大手ふ頭)



弾道ミサイルの飛来を想定した住民避難訓練が市役所周辺に限定して行われました。市町村レベルでは県内初めて、全国17番目となった訓練には、自主防災会の関係者と市職員合計約230人が参加。防災行政無線から全国瞬時警報システム(Jアラート)の警報音と音声情報が流れると、屋外にいた人たちはかがむような姿勢を取ってミサイル通過の放送が鳴るのを静かに待ちました。訓練後、渥美市長と消防庁国民保護室長大塚大輔氏から講評があり、万が一への心構えをしていました。

(10月6日、市コミュニティセンター周辺など)

## ミサイルに備えて訓練

## 人気集めた地元グルメ 第2回奥松島マルシェ



市内で活躍する地域おこし協力隊の皆さんが企画した第2回奥松島マルシェが開かれました。屋外には農水産加工物やお菓子など地元のグルメを集めた屋台が並びました。地域内外から訪れた「東松島ファン」たちでにぎわい、店主たちと会話を弾ませる様子も見られました。

(10月7日、復興再生多目的施設セルコホームあおみな)

